



# 富士市の 洋紙製造発祥の地、鷹岡

vol.11

議会広報委員が市内の  
注目スポットを取材!!

## 議員ふじさん歩

今回の取材担当:井上 保



当時、工場だった建物



龍巖淵



夜明けの像 (複製)

入山瀬駅の南、鷹岡本町通りの一角にある小さな公園に紳士のような帽子を被り、「PAPER」と書かれた旗を持つ少年の像が立っています。これは、明治23年(1890)、富士製紙会社により日本初の碎木パルプを原料とする製紙工場がこの地に建てられた際、輸入した抄紙機のメーカー(米オハイオ州)から贈られた「夜明けの像」の複製です。

潤井川の豊かな水と富士山麓の森林資源、東海道線につながる馬車鉄道などの立地からこの地が選ばれ、「紙のまち・富士」に展開していきました。現在では、製造工程の海外移転が進み、かつての工場は紙の保管倉庫となっています。

このまちの歴史を見つめてきた少年像は「このまちの人は次に何をするのか」と問いかけているようです。近くには龍巖淵の絶景があり、紙のまちの歴史に思いをはせながら散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 議会にひと言

今回は、市民活動団体『Fuji ことはじめ』代表で同団体の福祉部門『SASAERU(ささえる)』を主宰する赤澤佳子さんにお聞きしました。

(インタビューア－:佐野智昭)

今までのように、地域や団体での課題を、その関係者だけで考えていたのでは解決できなくなっています。例えば、遠くから見ると美しい田子の浦の海岸が、海洋ごみであふれている現状は深刻です。私たちは、多様な方々が課題を共有して、自分ごととして受け止め、できることを実践していただけるように、そのつなぎ役を担い活動しています。

富士市の市民活動団体の数は県内トップ3に入っているなど、活動したいと思っている市民は大勢います。そのような人たちに目を向けて、市民の声に耳を傾け、市民の代表である議会と行政で、参加しやすいシステムをつくってほしいと思います。



## 議会 ヒストリー vol.11

### 全日空機衝突事故の 教訓を今に伝える (昭和46年)



新設された航空安全祈念の塔

昭和46年7月30日、岩手県雫石町上空で発生した全日空機と自衛隊機との衝突事故により、富士市民125名を含む162名が犠牲となりました。

富士市議会では、同年8月の臨時会で、民間機優先の航空行政の確立や、航空自衛隊の訓練空域は民間航空路より遮断すること及び事故犠牲者に対し、速やかに誠意ある補償をすべきとの意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

事故後に整備された「慰霊の森」では、毎年、慰霊祭が行われ、昨年5月より名称が「森のしずく公園」に変更されました。また、50回忌を迎えるに当たり、令和元年に行われた慰霊堂の改修や航空安全祈念の塔の新設に際して、富士市議会として寄附を行っています。(担当:吉川隆之)

## 編集後記

今回は、11月定例会で審議した補正予算案7件、条例案8件、単行案2件、人事案2件、請願1件及び陳情1件の計21件の結果報告のほか、特集では、富士市議会として説明責任を果たすため実施した議会報告会の様子を紹介しております。また、見開きを右から左へ変更し、可能な限り横書きの記事にしたので、読みやすくなったのではないかと思います。令和3年も充実した議会だよりをお届けしますので、よろしくお願いたします。(長谷川祐司)

## 次回定例会予告

2月定例会は、2月16日から3月23日まで開催される予定です。令和3年度予算の審議及び市長の施政方針に対する質問等が行われる予定です。

発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地  
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索